

七年ぶりにあつまれ ひとしの森へ 渡辺仁史



think the future from hitoshi watanabe lab.

●仁史研究室OBOG会2023

2016年3月に早稲田大学を選択定年制で退職してから、やがて7年が経とうとしています。

この間に何人かの方々とは個人的にお会いする機会がありましたが、研究室に関連する皆さん全員に声をかけて集まることはありませんでした。

Facebookやインスタグラム、さらにライン、最近はZOOMなどで情報交換をしてきましたが、やはり一部の特定の方々との間でのバーチャルなやりとりであり、対面で波動を感じながらの交流とは違っていました。

そこで、久しぶりにみんなで集まるのか、ということになったのですが、自分の研究室がなく在籍者がいない中、皆さんの所在把握に困難を極めました。とても一人で、従来のように全員にハガキを送ってお知らせするというのは不可能で、どうしたものかと思っていたところ、Google Formでのアンケートはとの提案に至ったわけです。

ところがこれも困難を極めました。そのアンケートへの回答依頼をどうするのか。現在、私が把握している研究室及びゲストの総数は634名（スカイツリーと同じです）、そのうち年賀状で確認が取れているのは約

100名、Facebookの仁史研グループへの登録者が約200名、大学で卒業生用に使っていたメーリングリストが約300名ですが、このうちの大半がダブっているのも、実は、634名のうちの大半の連絡先が分からないままです。

これは大変に失礼なことなので、今後皆さんのお知恵と協力を得ながら、連絡不明者の所在確認をしていこうと思いますが、そのためにも、まずは、わかる範囲で集まってみようというのが、今回のOBOG会2023の趣旨でもあります。

そのようなわけで、有志の協力を得て、今回の集まりの企画となりました。まずは、集まってみんなでワイワイ情報交換をしましょう。

さて、先日の名簿確認のアンケートに回答してくださった190名の皆様は、なんとメールでの配信希望が6割以上いて、Facebookの3割を大きく上回っていました。しかもほぼ全員がメールアドレスも持っていることも分かりましたので、もう旧式かなと思っていたメールによる研究室新聞「ひとしの森」を創刊することにしました。

2015年12月19日、退職前の西早稲田キャンパスでの最後のOBOG会



News Paper

創刊準備号

2023.01.02

それは観察から始まった……人間行動と建築情報学